

会 議 録				
平成26年度第5回 社会教育委員の会議	日 時	平成26年10月24日(金) 午前9時30分～11時00分	場 所	小金井市第二庁舎 8階801会議室
事務局	小金井市教育委員会生涯学習課			
出席者	委員	中村議長、原嶋副議長 樋口、樹、本多、倉持、小山田 各委員		
	その他 事務局	西田生涯学習部長 石原生涯学習課長、上石図書館長、前島公民館長 伊東生涯学習係主事		
傍聴の可否	◎可 ・ 一部不可 ・ 不可		傍聴者数	1人
傍聴不可・一部不可の場合の理由				
次 第				
<p>1 協議事項</p> <p>(1) 第5ブロック研修会について</p> <p>(2) 第2次小金井市生涯学習推進計画の評価に係る調査について</p> <p>2 報告事項</p> <p>(1) 全国大会等参加団体補助金の交付について</p> <p>(2) 貫井北センターの利用者アンケートについて</p> <p>(3) その他</p> <p>ア 平成27年度会議日程について</p> <p>イ 第4回放課後子どもプラン運営委員会について</p>				
<p>1 協議事項</p> <p>(1) 第5ブロック研修会について</p> <p>(中村議長)</p> <p>皆さん、おはよう。今日は、お忙しいところお集まりいただきありがとうございます。</p> <p>それでは、第5回の社会教育委員の会議をこれから開催させていただく。</p> <p>まず、事務局のほうから配付資料のご案内の前に、今日は西田部長が公務で早めにご退席されるということで、ご了解いただけるようお願いする。</p> <p>そして、今日は宗像委員、石田委員、それから清水委員がご欠席である。清水委員は、実はおけがをなさり、松葉杖の状況であるということで、残念ながら、土曜日の研修会、懇親会は急遽ご欠席ということで、全員でカバーしながらやってまいりたい。</p> <p>それから、当日は、石田委員は今日のご欠席であるが、土曜日はお越しになる。宗像委員は、今日は欠席で、土曜日もお用事でご欠席である。よろしく願います。</p> <p>それでは、配布資料の確認をお願いします。伊東さんから。</p> <p>(伊東生涯学習課主事)</p> <p>私から。配布資料の説明をする。まず1枚目が本日の次第になる。2枚目が、中村議長に作成</p>				

していただいた第5ブロック研修会・分科会討議のポイントと時間配分(案)である。その次が、第5ブロック研修会出席者名簿、両面刷りになっている。その次が、第5ブロック研修会タイムスケジュール、両面刷りになっている。その後が、公民館からの第2次生涯学習推進計画の評価に係る調査についての回答、ホチキスどめで4枚になっている。その次に、図書館からの第2次小金井市生涯学習推進計画の評価に係る調査についての回答、ホチキスどめで2枚になっている。そして、体育協会からのアンケートの回答、ホチキスどめで3枚になっている。その次が、PTA連合会からのアンケートの回答、ホチキスどめで6枚になっている。その後が、P～Stepからのアンケート回答、ホチキスどめで3枚になっている。アンケートの最後、文化連盟からのアンケートの回答、ホチキスどめで3枚になっている。次に、全国大会参加団体への補助金交付についてが1枚ある。それとメモであるが、平成27年度社会教育委員の会議開催日程についてというものがある。カラー刷りで、メンタルトレーニング講演会というものと、先ほどお配りした懇親会会場への地図で、本日の資料は以上である。何か過不足等あったらおっしゃってほしい。

小山田委員からの、「地域で教育サポートに加わりませんか」というチラシが、黄緑と青の2枚である。

(中村議長)

それから地図について、これは講習会から懇親会に移る会場のご案内。これを当日、参加者の皆さんにお配りするということである。伊東さんが頑張って作成してくれた。ありがとう。

それでは、まず協議事項に入る前に、先般行われた小委員会で討議されたことを原嶋副議長からお話いただく。これは先に報告させていただくのは、今日の第5ブロック研修会にかかわるところが多々あるので、その理解を助けるために、まずは原嶋副議長からまとめをお伺いする。願います。

(原嶋副議長)

その前に、清水さんがけがされた。実は懇親会の下調べでけがをするというのはめったにないことであるが、報告する。私も一緒にいて、可動式の演台がある。北ホールにもあるが、それを事務局長がすーっと、1人か2人でおろしてできた。僕もできるのかと思っていたら、これがめちゃくちゃ重い。ぐーっと落ちてきて、もう1人の事務局の、萌え木ホールの方が両方で持っていたが、後で考えたらめちゃくちゃ重い。その方が4人で持って、支え切れず、気の毒に右足を挟んでしまった。私も申しわけないと思って、すぐ救急車を呼んで、今、ご自宅で松葉杖をついている。そんなことで、下見のことも、誰の責任ではないが、そんなことがあった。公務災害でも何でもないが、気の毒をしてしまったということである。

それでは、本日、小委員会の報告ということであるが、あらかじめ既にレジュメがある。このことのための調整会議と考えてよろしいかと思う。10月9日の木曜日、9時半ということで、小委員会の皆様に集まっていた。まずたくさん時間を割いたのは、第5ブロック研修会である。今日もかなり綿密にやっていくと思う。タイムスケジュールや、その時間が妥当なのかどうか、あるいは役割分担がどうなのか。とりわけ、小金井の社会教育委員の方の役割分担、分

科会での司会、記録、ほかの市の議長の助けをかりなければいけないとか、いろんなことが話し合われて今日の提案になると思う。

2つ目は生涯学習計画。この評価、9月30日が締め切りだということであるが、僕自身はスポーツ関係でやったが、設問数が少なく、19人の対象者であると、多くの対象者とか、設問数の多い、いわゆる社会教育関係団体の方は本当に大変だったのか、あるいは今制作中かもわからないが、進捗状況の確認ということで終わった。これについては、もう少し時間を割いてやっていかなければいけないかと思っている。集計結果が出て、どれをどう踏まえて進めていくのか、そのことは今後の課題になるかと思っている。

次に、全国大会の参加団体、これは市に基準があり、国際大会に行ったチームと全国大会で北海道に行ったチームがある。全部少年野球であるが、これは交付事務取扱基準に照らし合わせて、出る、出ないというのを教育委員会でお決めになるということである。

大体そのぐらいである。何かつけ加えていただけるならばお願いします。

以上である。

(中村議長)

ありがとう。小委員会に出ていただいた委員の方で、補足するような点はあるか。よろしいか。なければ、ご報告いただいたとおりでということで、報告事項ということで、石原課長におつくりいただいた第5ブロック研修会現地事前打ち合わせ結果メモということであり、実は、火曜日に一部の委員の方と事務局の方で打ち合わせをやっていただいた。私は不在で申しわけなかった。それと、おととい、先ほど原嶋副議長からお話があったが、清水さんと2人で頑張っていたら、懇親会の会場の萌え木ホール、商工会館の萌え木ホールで下見をわざわざやっていただいたということで、ありがとう。

では、第5ブロック研修会現地事前打ち合わせ結果メモがあるので、これを石原課長からご説明いただいてもよろしいか。

(石原生涯学習課長)

ぎりぎりに送ったので、皆さんお持ちでない……。

(中村議長)

メールで送られていた……。伊東さん、コピーしていただきたい。

きのうの夜、石原課長から送っていただいた、今週の火曜日に行われた事前打ち合わせメモ、この件を石原課長からご説明いただいてもよろしいか。

(石原生涯学習課長)

出席していただいた方は参加者一覧のとおりである。それから、打ち合わせ内容についてであるが、北町ホールは上履きで上がっていただくということなので、ホールに入る前に靴を脱いでいただき、北町センターにあるスリッパを使わせていただき、ホール内はスリッパで動いていただくということに決めさせていただいた。

それから、北町センターの1階から2階へ上がるなどの動線があるので、要所に紙で、2階で

あるとか、右である、左であるみたいな案内掲示を行って、スムーズに北町ホールまで上がっていただけるようにしていきたいと考えている。

受付は、2階の北町ホール前にテーブルを出して行い、市ごとにまとめていただくようお願いをしているので、そこで受付をしていきたいと考えている。

(石原生涯学習課長)

それから、舞台の配置であるが、先ほど原嶋副議長からご説明いただいた可動式の舞台があるので、それを引き出して、その舞台の上、演説とかを行う演台というものをイメージしていただければいいのかと思うが、そういったものを中心に置いて、それぞれ主催者や来賓の方にご挨拶していただくときには、演台の前のマイクを使ってご挨拶をいただく。

それから、司会の方は来賓と一緒に上に乗って進行するのはいかがなものかというお話があり、舞台袖に原稿台のかわりとなるような小さな台を置いて、その前で進行をするという形を考えた。椅子の配置は、会場の中で実際に椅子を動かしてみたりする中で、1列は4席、4席、真ん中に通路を設けるぐらいがスペース的に限界であり、後ろまで並べると7列、参加人数によっては若干プラスアルファの席を五、六席つくる必要も出てくるかもしれない。

それから、次は進行の関係であるが、主催者来賓の挨拶が一通り終わった後については、舞台からおりていただき、前列の関係者席にご移動していただき、前島館長、それから北町センターの村山分館長、伊藤副分館長、田中分室長の説明をしていただき、その後、建物内の見学に移る。ここでは靴の履きかえが生じる。見学を下足で行い、2グループで施設内を見学していただく。

それから、最後のところで、見学の最中に会場内はグループ討議を行うような会場に設営をしていくという形である。

おおまかに以上である。

(中村議長)

ありがとう。今の件に関連して、2部の懇親会の会費は3,000円と先ほど申し上げたが、受付の段階でもうお金を徴収してしまう。北町センターの受付で懇親会費を可能な限り収受してしまうということであるので、受付の方におかれては、そのあたりよろしく願います。

それから、懇親会に参加される方については、細かなお金、お釣りの関係があるので千円札3枚をお持ちいただくよう、お釣りのないようにしたいと思う。先に小金井のほうで細かなお金を集めて、万が一お釣りが出たときに対応したいと思うので、よろしく願います。

それから、今打ち合わせ内容で、石原課長からあったが、挨拶が一通り終わった後、来賓が舞台をおり、前列の席に移動する。その後云々かんぬんとあるが、ここは司会の小山田さんからお話をいただくという形をお願いしてよろしいか。

(小山田委員)

促す。はい。

(中村議長)

願います。

それから、この件でその下、施設見学のことが書いてあるが、施設見学は下足で行い、大きく2グループに分け、2階部分ではさらに1グループを2つに分け、分館長、副分館長がそれぞれ説明を行う。大きく分けられたグループは、小金井市社会教育委員2名により、分館長、分室長に行き着くよう先導等をする。これは2名であるが、2つグループがあつて2名ということであるから、2名、2名という考えか。

(石原生涯学習課長)

とりあえず、2市、3市ぐらいのグループで、大きく2つに分けて、それでも1人の説明員では声が届きづらいので、2つぐらいに割るということを事務局長に言われていたので、多分、2階部分はかなりいろんな部屋があるので、2階部分を案内するときは2つに、この辺で切れてくださいということで、村山分館長と伊藤副分館長が、声の届く範囲で効率的に説明をしていかれるのかと聞いていた。

(中村議長)

であるから、2名というのはグループが2つに分かれるが、先導する役は、社会教育委員2名ずつということか。

(石原生涯学習課長)

いえ、1名ずつで、それぞれ大きな1グループをつくる。その後、2つに割るのはNPOの方をお願いしようと思っている。

(中村議長)

であるなら、ここで役割分担を決めておいたほうがいいと思う。誘導の役については、全般的にタイムスケジュールのほうにも書いてあるが、もともとの予定では清水さん、石田さん、樋口さんということなので、誘導のほう、急で恐縮であるが、お一方は樋口委員さん、それからもう一方は石田委員ということに決めさせていただいてよろしいか。

では、これが役割分担の一部である。

あと、今、石原課長がおっしゃった件で、何かご質問、ご提案とかあるか。よろしいか。

(小山田委員)

それと、今の誘導のところであるが、事前にいただいている司会原稿にはわりと細かく入っていて、狛江市、府中市の委員の方が公民館からまず行って図書館という順番で見学、武蔵野市、三鷹市、調布市の方は図書館から行って公民館という順番で見学していただきたいと入っているので、樋口さんはどちらかと決めたほうがいいかと思うが、そういうことを言うことになっている。

(中村議長)

樋口委員はどちらの。

(樋口委員)

狛江市、府中市の方をご案内するというので。

(小山田委員)

原稿のほうにも、小金井市の何とか委員の後にお願いすると言うので、最初のほうが樋口さんで、後が石田さんでいいか。

(中村議長)

では、狛江、府中が樋口委員。それから、それ以外のほうを石田委員。それ以外の方については会場設営になるので、北町ホールで最初のスタイル、スクール形式から分科会へ椅子の並べかえがあるので、樋口委員、石田委員以外はそちらのほうに専念していただくということで、北町ホールに残っていただいて会場設営。椅子、テーブルの並べかえをお願いしたいと思う。

司会原稿は、小山田さんだけがお持ちか。

(小山田委員)

そうである。修正がまた入るといふことにはなっているが。

(中村議長)

その司会原稿を私もいただけるか。ほかの委員にはどうか。司会原稿は私にいただけるか。コピーしてきて持っていていいか。

(伊東生涯学習課主事)

わかった。

(中村議長)

では、この打ち合わせ結果メモについて、ご意見あるか。

(樹委員)

樹である。最初、来賓と議長、3人の方が舞台に座るとなっていたが、その後、発表者の方たちにも座っていただくので、椅子を1席増やそうというお話になっていた。その椅子を乗せるのは誰なのかというところ、例えば小山田さんがぱっと椅子を乗せることができるのであれば、小山田さんのそばに椅子を用意しておくことが大事だと思うが、決めておかないと。

(石原生涯学習課長)

椅子はどうすると言ったか。

(樹委員)

2・1で乗っているところに、2・2にするというふうに。

(石原生涯学習課長)

事務局の人が4人いるが、1席でいいという話だった。

(樹委員)

全員乗っていただくというお話だった。

(石原生涯学習課長)

だけど、椅子は1個。3プラス4ということか。

(樹委員)

はい。3に1入れて、来賓の方3人は下がる。

(石原生涯学習課長)

来賓がおりたら1つ足して、その4つに入れかわりに。

(樹委員)

乗っていただくということである。

(石原生涯学習課長)

了解である。

(樹委員)

なので、椅子を1席増やさなければいけないので、司会のタイミングと、小山田さんが乗せられるのかという。

(小山田委員)

乗せられるとは思う。近いから多分大丈夫だと思う。

(樹委員)

その辺のところを心づもりしておいていただくのが大事かというのと、誘導の人数が少ないので、北町センターの事務局からどれだけ出てくださるのかわからないが、北町センターは入り口も2つである。そこから階段を上がっていただいてという、私たち、なれている者にとってはルートは簡単であるが、何人配置できるのかというのと、入り口で必ずビニール袋を配る人を1人置かなければいけないので、その辺が決まっていたほうがいい。

(石原生涯学習課長)

北町センターの人は、この3人と鬼山事務局長しかいなくて、鬼山事務局長以外はみんな説明要員なので、説明の持ち場に張りついていないといけないので、そこまで社会教育委員1人で、向こうも、NPOの職員の方も少しは近づいてきてくれると思っていたので、お1人でつなげるかという感じで作った。

(樹委員)

玄関あたりに1人。

(本多委員)

順番に誘導するとか、最初にある程度出られてから次のグループという、玄関に行ってもらったほうがいいか。

(樹委員)

最初の、集まってこられるところがポイントである。三々五々、各市来られるわけなので、1階の玄関の両方が見えるところで、「こちらです」という流しをする人は必ず1人必要であるし、入り口でビニール袋を配る人も必ず必要なので、そうすると、石田さんと樋口さんお2人だと、それで完了というか。

(中村議長)

例えば事務局で、仮の話、伊東さんをお願いするというのはだめか。

(石原生涯学習課長)

社会教育委員の案内もみんな期待していなかったみたいで、説明要員の方に迎えに来てもらっ

て行くのでは効率が悪いから、社会教育委員が分館長や分室長につながをしましょうかといったら、それはありがたいという程度だったので、1・1で十分かという、あの場での打ち合わせの感触だった。

(樹委員)

ポイントになるところに社会教育委員のメンバーがついていたほうが良いと思う。

(石原生涯学習課長)

それで設営が回るのであれば。

(樹委員)

最初のところである。最初の段階。

(石原生涯学習課長)

始まる前か。

(樹委員)

開始前のポジショニングをきちんとしておいたほうが良い。

(中村議長)

社会教育委員2、事務局1でどうか。できれば伊東さんをお願いさせていただく。それは問題ないか。

(樹委員)

受付は3人っている。

(石原生涯学習課長)

3人っているのか。

(中村議長)

社会教育委員が3人である。

(樹委員)

原嶋さんと本多さんと私がついているので。

(原嶋副議長)

自分は下にいてもいい。どうせ皆さん、顔がわからなかったりするわけであるので、何となく雰囲気です。

(中村議長)

別にどこのどなただとわからなくていいので、要はうまく誘導できればそれだけのことである。

(原嶋副議長)

下にいるのは別に構わない。時間はある。

(中村議長)

ありがとう。ではお願いして。

(樹委員)

1階の入ったところが、まずは両方の入り口がわかりづらいので。

(中村議長)

2つ入り口があるから。

(本多委員)

あれはぜひ、大事だ。

(中村議長)

あそこは多く人を配置したほうが、私はいいと思う。

(樹委員)

そうである。おそらく、そんなにだらだらとは来られないと思うが。

(中村議長)

ではお二方に。ありがとう。では、誘導は図書館長、公民館長のお二方をお願いする。

(樹委員)

どれだけ効果があることになるか、後で気がつかれると思う。

(中村議長)

では、ほかにこの結果メモについてご意見。

(樋口委員)

上に上がられて、それで、お部屋に入られるときにナイロン袋をお配りするのも、さっき言われていたように決めていたほうがいいので、最初なので、私も手が空いているので、しょうか。

(中村議長)

していただいて。それは鬼山事務局長に聞いていただければわかるので。

(樋口委員)

ナイロン袋が。わかった。ただ、人数にもよるか。もう1人ぐらい。全体でも30人……。

(中村議長)

石田さんと樋口さんで。

ほかはないか。打ち合わせ結果メモについて、よろしいか。

(樋口委員)

誘導のところであるが、一旦ご挨拶とか、その他、説明が終わって、そこを出てこられるときに、お部屋の外に早めに出てお待ちしていたとして、「狛江市から府中の方はこちらです」みたいなお声がけをして、一応、北センターをもう一度見に、チェックには行くが、公民館、図書館というふうに、簡単に書いてあるが、大体どの流れで……。

(中村議長)

動きか。

(小山田委員)

この間の話では、公民館のほうは、伊藤さんと村山さんと2人で分かれて、ぶつからないように回るとおっしゃっていたが、さらに2つグループに分かれるとおっしゃっていたので、とりあえず外に出てもらって。

(樋口委員)

出てこられて、狛江市、府中の方を、まずこちらにということで集まっていたいて、その後は下に。

(小山田委員)

最初は公民館からである。なので、ここで二手に分かれて、多分、伊藤さんと村山さんがどちらかにつかれると。そこで2グループに分けてもらったらいと思う。

(樋口委員)

ただ、その指示はしてくださるということか。二手に分かれるとしたら。

(小山田委員)

多分、2人がやってくださると思う。

(中村議長)

小山田さんのほうから班分けを話していただいたほうがいいだろう。

(小山田委員)

そうだ。

(中村議長)

それはお願いできるか。2班に分かれる内容、どこの市がどういう順序に回るといふ、それを小山田さんから言っていたいただいたほうがいいのではないかと。それに基づいて動いていただいて、作業していただく。

ほかにないか。

(原嶋副議長)

これで終わるのだとしたら、確認させてほしいのであるが、テーマが妥当なのかどうか。今さら言っても遅いが、青少年の居場所づくりというのは、青少年といふと、12歳から25歳ぐらいを青少年を指すので、イメージとしては、司会をする場合、中高生レベルのところはどうなのかというのを話したいのだが、アバウトな感じがする。テーマが出たときに、今さら言ってもしようがないかもしれないが、二十四、五の、そんな居場所づくり云々ということではないと思うから、本当は、正確には中高生とかをきちんと対象にしたほうが、テーマとしては絞りやすいのではないかと。

(中村議長)

それは、我々小金井が司会役であるから、そのあたりをおっしゃっていただいたらいいのではないかと。

(原嶋副議長)

青少年の居場所づくり、これは、イメージとしては、話の中身としては中高生の居場所づくり。

(石原生涯学習課長)

小金井市の場合、青少年のための科学の祭典といふのに、中学生とか高校生、小学校でも高学年ぐらいの子を対象にしている、いろんな青少年センターみたいなどころとはまた違う年齢層に

なってくると思うし、いろいろ使う側によって幅は出てきてしまうので、こちらの小金井市社会教育委員として、このぐらいの年代を青少年という、身近な行事として感じるどころから切り込んでいけば。

(中村議長)

今日、司会をやる人でいないのが石田さんだけである。あの方、ここでそれを確認をとっておけば、石田さんだけに、そういうことにしたという説明を事務局から電話かメールでお願いする。

青少年のほうについては、出席者名簿があるが、この中で、私のほうはたしか青少年ではない。あと、本多さんのところは。

(本多委員)

下3つか。

(中村議長)

2つあるのか。だから……。

(原嶋副委員長)

青少年をやる人だから、原嶋、樹さん、石田さん。

(樹委員)

下3つか。

(中村議長)

では、グループ討議は、今、原嶋副議長がおっしゃった形で絞って、話していただいて、当日、石田さんのほうには、原嶋副議長からお話いただく形で。

では、よろしいか。打ち合わせメモについてはこの辺で打ち切らせていただき、タイムスケジュールを読み合わせする。これは、小委員会では読み合わせしなかったが、これは確定版ということで考えて読み合わせをする。

このスケジュールをごらんいただけるか。

まず、12時に社会教育委員、全員集合。事務局の方の集合時間はこの時間と考えていいか。

(石原生涯学習課長)

そのつもりでいる。

(中村議長)

では、全員12時、10月25日の12時に北町ホール、全員集合。

集合していただいてすぐ、司会打ち合わせということで、小山田委員と私。それから受付打ち合わせということで原嶋副議長、本多委員、樹委員。それから誘導打ち合わせということで、清水さんはご欠席なので削除していただいて、石田委員、樋口委員と、北町センターが事務局。鬼山事務局長が中心になるかと思う。その際、2階建ての建物であるからそんなに心配はしてないけれども、非常時の誘導経路を確認していただくということで、お願いする。特に誘導の方、よろしく願います。樋口委員と石田委員、そのあたりを綿密に、事前に打ち合わせをお願いし

たい。

それから、12時半から13時にかけて会場準備ということで、これは社会教育委員全員と小金井市事務局全員、それから北町センター事務局含めて、会場準備に当たる。場内、椅子、座席案内、案内看板、受付設置、外看板設置。これについてお尋ねであるが、受付の紙とかは、張り出す紙は……。

(石原生涯学習課長)

北町は説明でお願いしているので、つくったりすると仕事になってしまうので。

(中村議長)

それはなしと。

(石原生涯学習課長)

ええ。

(中村議長)

わかった。

(石原生涯学習課長)

自発的に手伝っていただくのはいいが、うちがお願いするのはだめである。

(中村議長)

わかった。組織上。

(石原生涯学習課長)

演台だけは、専門の人が触らないと出せないなので、そういうところの手伝いである。

(原嶋副議長)

「教えてください」という言い方で。

(中村議長)

それはよくある。組織上の問題である。

(石原生涯学習課長)

ちょっとおかしくなるので。

(中村議長)

会場準備の、案内看板とか受付とか、それは事務局のほうで、もう作成はしていただいているのか。受付の紙をここに張り出すとか、大丈夫か。ご来賓の方のお名前とかも大丈夫か。

(伊東生涯学習課主事)

作成している。

(中村議長)

大丈夫か。ということで、それと関連して、小金井市の社会教育委員でいらっしゃるということを、支給する腕章も大丈夫か。

(伊東生涯学習課主事)

腕章であるが、人数分用意ができなくて、各事務局も含めて、名札を作成するので、そちらに

かえさせていただければと思う。

(中村議長)

皆さん、名札を着用していただく。名札は作成済みか。

(伊東生涯学習課主事)

はい。

(中村議長)

ありがとう。

ということで、会場準備を30分で終える。その後、13時半から14時、これはスタンバイ、受付・誘導スタンバイ。特に、誘導以外の方で手の空いた方は、手薄なところになるべく行っていただくということで、誘導のお手伝い等も視野に入れた動きをお願いする。

そして、14時から開会ということで、司会が小山田委員。主催者挨拶は私。それから、14時4分から小金井市教育長挨拶。教育長はご参加いただけるのか。大丈夫か。

(石原生涯学習課長)

前半だけで戻らないといけない。

(中村議長)

研修会のみ参加ということで、教育長のご挨拶。

(石原生涯学習課長)

途中で、皆さん、見学に行ってしまうところで一緒に退席させていただく。

(中村議長)

わかった。そして、14時7分から来賓挨拶ということで、都市社連協。どなたか、あきる野市だったか。

(伊東生涯学習課主事)

西東京市の須永副会長である。

(中村議長)

西東京市の須永会長。お名前等は、小山田さん、大丈夫か。

(小山田委員)

いただいている。

(中村議長)

フルネーム、読み方。

(小山田委員)

はい。

(中村議長)

お名前は間違えないようお願いしたい。

(小山田委員)

はい。

(中村議長)

それから、14時10分から配布資料確認ということで、当日スケジュール案内ということで小山田さんのほうからお話。この原稿については、司会原稿を事務局でご準備いただいているので、それに基づいてお話ししていただきたい。

それから、14時13分から、NPO法人設立から貫井北町センターオープンに至るまでの経緯説明ということで、前島公民館長。

14時20分から15分かけて、貫井北センターの施設概要と利用状況について。これについては、NPOの鬼山事務局長、田中分室長、村山分館長、伊藤副分館長からお話をいただく。

それが終わって、14時35分から15分かけて、2つの班に分かれて施設見学ということで、1班が公民館、2班が図書館から。これについては、班分けについては小山田委員のほうから事前にアナウンスをいただいて、樋口委員と石田委員で誘導していただく。残りの社会教育委員の方におかれては、北町センターの座席配置をスクールスタイルから分科会のスタイルに変更するという業務があるので、ご協力をよろしく願います。

14時50分から10分間で休憩が入る。

続いて裏にまいり、15時から質疑応答。座席配置はこの時点で分科会に変わっている。NPO鬼山事務局長、小山田委員、上石館長、前島館長。

15時15分から40分かけて分科会。社会教育委員全員。この分科会の班分けはこちらである。別紙で、第5ブロック研修会出席者名簿というのがあるので、このメンバーで行う。これまでの研修会、全部当日この役割を決めていたけれども、時間の節約ということで、事前にどなたが司会で、どなたが書記だということを決めているので、より深く、今回は分科会で討議ができるのではないかと思う。

それと、私が簡単につくった第5ブロック研修会・分科会討議のポイントと時間配分(案)、これを一応作成したので、これはあくまでも試案であるので、ご意見があれば、この場で承りたいと思う。

簡単に読み上げると、40分かけて話をするが、その流れということで、まず各委員が自己紹介を兼ねて、各テーマに沿って地元の事例を挙げていただく。その際、必ず全員に発言していただくように、司会の方にはご配慮いただくようお願いする。1人約3分、全体20分。

そして、全員の発言が一通り終了したら、司会が共通のよい点を見つけて討議を深化させる。その際、できるだけ多くの方に発言していただくようお願いする。発言が出ない場合は、参加者の発言を誘発すべく、司会が口火を切っていただくようお願いする。これを15分。

その後、発表者や書記がまとめやすいように司会が結論をまとめる。これが5分。そして、各グループから、各3分以内で発表していただいて20分という形である。20分、15分、5分で40分、グループ発表が20分ということである。

これについて、何かご意見あるか。大体こういう流れで、司会の方、ご配慮いただければと思う。それでは、分科会は40分で終わる。その後、20分かけて各班から発表していただく。

そして、16時15分からは講評ということで、まとめと閉会の辞を原嶋副議長からお願いしたい。その後、16時20分から5分かけて懇親会と会場移動についてご案内ということで、小山田委員からご案内する。そしてこの間、先乗りということで、早めに原嶋副委員長は閉会の辞を終えていただいて、すぐ移動をしていただく。事務局のほうで、伊東さんが作成していただいた懇親会の会場のマップ、これを必ず皆さんにお配りして、会議資料と一緒にしていただいたほうがいいのではないか。受付のときに必ず入れていただく。懇親会は全員参加ではないが、基本的に全員にお配りしておいたほうがいい。移動についてはこれで問題ないと思う。先乗りということで、原嶋副議長に懇親会場に先乗りしていただいて、事務局でお1人、先乗りをどなたかお願いできるか。人選は……。

(石原生涯学習課長)

下打ち合わせのときに出たのが、道のポイントとかに人を置いたり、歩いていくのに先導しながら行くのと、どちらがいいかなという話が出ていた。

(中村議長)

ここの曲がる場所、駐輪場の中を通る、ここにどなたかお1人、誘導で。樋口委員、誘導ということでお願いしてもよろしいか。

(樋口委員)

わかった。

(中村議長)

雨が降ったら申しわけない。

(樋口委員)

大丈夫である。

(中村議長)

ではここの駐輪場、曲がる場所に樋口委員にお願いできるか。申しわけない。

(樋口委員)

はい。

(中村議長)

懇親会場は小金井商工会館の2階である。懇親会場には、特に受付看板は張れないかもしれないので、どなたか立っていただき、誘導していただく。商工会館の誘導であるが、早めに、石田さんがおそらく先に行かれるので、石田さんが立って案内していただく形で。商工会館の2階である。

(小山田委員)

徒歩で会場に行くのであるが、例えば、杖をつかれている方がもしいらっしゃった場合は、バスとか、タクシーを呼ぶとか、そういうのがあるのか。

(石原生涯学習課長)

車で来られる方がいらっしゃるが、あそこはとめられないので、市役所にとめて、また拾いに

来るということと言われていらっしゃる方もいらっしゃるだったので、ご自分で何とかしようと思っ
ていただいているのかと。

(中村議長)

それは当日の対応でいいと思う。

(石原生涯学習課長)

出たら人を増やして、何とかできるかどうか。

(中村議長)

あそこは車をとめられない。タクシーが一番いいのではないかと思う。

(石原生涯学習課長)

北町の1階のところ、公衆電話があるが、そこにタクシー会社が張ってあるので、そこでタク
シーを呼んで。

(中村議長)

それが一番である。市役所にとめておくと、また歩かないといけない。そこからどうやって誘
導するのかという問題がある。

(石原生涯学習課長)

タクシーも多分駅から来るので、そんなに待たないで来ると思う。

(中村議長)

基本はタクシーで対応するという形で、手のすいている方に、その辺はご対応いただく形でお
願いする。その辺は臨機応変にしたい。

移動して、懇親会は原嶋副議長を中心にやっていただくということで、司会進行は原嶋副議長
をお願いする。清水委員はご欠席である。参加者約50名。17時から開会の挨拶ということで、
原嶋副議長のご挨拶。それから、私が続いて。17時3分からは調布市の岡田議長。古参の議長
であるので、乾杯の音頭をとっていただく。その後懇談で、閉会挨拶ということで、18時5分
から、狛江市の委員長からご挨拶をいただく。一応、業者は楽膳というところに頼み、打ち合わ
せ等は原嶋副議長中心にやっていただいている。

(原嶋副議長)

そのことでいいか。

(中村議長)

お願いする。

(原嶋副議長)

上がっていただいたら、テーブルを5個置いてある。立食であるので、周りに椅子は置いてお
く。周りに椅子があるのでお使いの場合は。1時間以内なので、お酒の好きな人、おなかがすい
ている人はどんどん早くしないと大変なので急いでほしい。

あとは僕のほうで進めるので、和やかにということで、どこにテーブルをつくるのがいいのか
と思ったら、ごらんのように班分けしている。そういう方々が、例えば、5班まであるので、ナ

ンバープレートを置いておくので、そこへ行くようにお願いする次第である。

申しわけないが、事務局の方々は、途中で帰る人もいるから、すいていそうな——大変失礼な言い方であるが、そこに埋まっていたでいて、和やかにやっていただければと思う。研修の際にかなり厳しい言いがかりをつけられて、そのまま飲み会に入るということは想定しがたいが、その辺は大人であるから頑張ってください。

そんなことで、1、2、3、4、5、置いておくので、その部分のところに行ってください。お願いする。以上である。

(小山田委員)

では、今の説明を司会がしたほうがいいか。

(原嶋副議長)

本当はしたい。

(小山田委員)

そのときお話しして。最後まで班は同じであると。

(原嶋副委員長)

どうしても一緒にならなくなって、みんな小金井だったら小金井で集まってしまうので、だったらせっかくの形なので、このままやりたい。

(石原生涯学習課長)

あと、懇親会だけにご参加の予定だった前社会教育委員の本川さんと伊藤さんは、最初の研修会もぜひ拝見したいとおっしゃっていただいたので、最初からオブザーバーとして参加して、最後の懇親会までいていただける。

(中村議長)

分科会はまだ班分けされているので、オブザーバーという形で聞いていただくということになっている。であるので、研修会と懇親会、両方、本川前議長と伊藤前副議長がご参加されるということで、お2人増える。たつての熱い思いがあるそうである。

スケジュールについてはそういう形であるが、青少年の居場所づくりについて、この子ども施策メモというのは、皆さんお持ちか。若干、2枚つくっていただいたので、読み込みしておいていただきたい。

(石原生涯学習課長)

私の独断であるので、皆さん、そのあたりの、石原の思いつきはこれだという中で、自分でそこから波及して、これもあるとか、これはもっと私のほうが知っているというのは、深めていただければという程度である。

(中村議長)

ただ、ご自分で発言するときに、こういう内容を頭に入れて発言していただくと、より答弁が深化するのではないかと。

今、スケジュール、役割分担についてお話ししたが。

(石原生涯学習課長)

議長、あとは荷物になるかもしれないが、もし生涯学習推進計画とかが手元にあったほうが討議しやすいという方は、お持ちいただいてもいい。頭に入っていらっしゃる方は……。

(中村議長)

皆さん、家にあるか。

(石原生涯学習課長)

これを見ていただくと、いろいろ人数なんかも書いてあったりする。もちろん、古い19年度、18年度の実績であるが、何となくわかるかと思う。

(中村議長)

その関連でお尋ねであるが、NPOの事務局に渡す謝礼とかはご準備いただいているか。

(石原生涯学習課長)

はい。

(中村議長)

茶封筒に入れていただいて、私からお渡しするほうがいいか。

(石原生涯学習課長)

そうである。

(中村議長)

では当日ご準備いただき、私からお渡しするということで。

ほかに、この研修会、懇親会全般でご質問とかご提案あるか。

(樹委員)

何点か確認させていただきたいが、配付物に関しては市ごとにまとまっているという状況か。受付でお渡しする配付物は、個人ごとに渡すのか、市ごとにまとまっているのか。よく、小金井から行く場合は事務局が一括で受付をしてくださって、事務局の方からいただくというパターンが多いのであるが、ほかの市がどうなっているのかは見たことがないので、受付をやっていく段階で、本当に名簿チェックをしなければいけないのか、名簿チェックをするのであれば、それぞれにお渡しすればいいが、今の配付物の状態が市ごとにまとまって置いてあるのか、それとも私たちの受付の手元に、個人のものとして、個人に渡す状態で来るのか、どちらになっているのか。

(伊東生涯学習課主事)

北町センターの資料が今日完成するというのであったので、これからこちらの配布資料もあわせて封筒に入れる作業をするのであるが、受付する側としてはどちらがやりやすいか。

(石原生涯学習課長)

手提げはあるか。総会へ行くと、事務局が一括で受付をするから、事務局は手提げで渡す。

(中村議長)

受付するほうとしては市ごとにまとまっていたほうがいい。一人一人やっていたら混乱する、一遍に来られた場合。市ごとに準備していただいて、各市の事務局にどさっと渡して、あとはお

願いますという形にしたほうがいい。受付で混乱すると印象が悪いと思う。その方向でご準備いただけるか。

(樹委員)

あともう1点、最終的に57名と参加者があり、実際表面の出席者30名のうち、まず席に座る方は、小金井市を除いた23名の方が社会教育委員として着席をする。小金井のメンバーはそれぞれの役割が済んだときには、後ろのほうに座ると思うが、席として56席と考えているわけで、来賓の3名の方は壇上に座られて、その後、下の一番最前列にという流れをこの間確認をしたが、このNPOの事務局の方は、例えばサイドに4つ椅子を用意するか。座るところもなく、立っていただくというのもあれである。

(中村議長)

それは用意しないといけない。

(樹委員)

あと、事務局の方たちが16名いらっしゃるが、この方たちは社会教育委員さんたちが前に座って、その後ろ側に座られるという誘導をして。おそらく事務局の方が前にどんどん出て座るということは、いつもの状況から見てもあり得ないと思う。そういう流れをつくって分けていくとか、社会教育委員の方はどうぞ前にという呼びかけが必要かなど。これを見ると23人と、後ろも同じぐらいの人数がいる。オブザーバーの伊藤さんや本川さんはその辺に混じっていただいていたということであるか、混じって座っていただく。

(中村議長)

そこはまだ決めていない。

(樹委員)

小金井市の例えば私たち受付や誘導をやっていたメンバーも最終的には中に入るが、そこは席を確保しておいていただけるのかどうか。

(中村議長)

事前に用意しておいたほうがいい。

(樹委員)

ほかのところに行くと、例えばここは府中市であると張ってあったりして、戻ってきたメンバーが最後にそこに戻るという感じになっているので、できたら一番後ろの1列とかを確保して、役員用にやっていただいたほうがいいと思う。

(中村議長)

それは当日、結構時間をとっているから、12時過ぎから約2時間あるので、そこできっちり詰めればいい。

(樹委員)

ただ、物をつくっておいていただかないと。例えば小金井市というものとか。

(石原生涯学習課長)

よくあるのは、椅子をスズランテープでくっつける。

(本多委員)

概略の図を描いておいたらいいのではないか。縦に何列とか。スクールスタイの図面をざっと描いていただいて、メモでもいいから。

(樹委員)

でも場内の中で誘導をする方を、事務局でもどなたでもいいが1人つけておかないと。社会教育委員の方はどうぞ前に行ってくださいとか。

(中村議長)

というか、こことってあるとわかればとりあえずいいと思う。それでこっちへ来てくださいと言えばいい。とにかくきっちりわかるように12時に集まって、セッティングして最終確認するという。実際セッティングしてまたいろいろ出てくるかもしれない。その表示である。座席に張るのかテーブルに置くのかわからないが。

(樹委員)

各班の書記などの役割分担などはどのように根回しするか。

(中村議長)

私が早めにつかまえてお話しする。人選については、結局発表者が全部、議長とか委員長であるからそんな抵抗はないと思う。別にそれはその場でああだこうだと言われぬよう、事前に私が各市にお願いする。

(倉持委員)

今週火曜日に武蔵野市の社会教育委員の会議に出てきたが、一応役割を感じ、こんなことをやるという話をして、そうしたら2つテーマがあったけれども、どちらにするか迷ったというときは議長がおっしゃってたりして、皆さん楽しみにしていた。公民館もきれいで新しいとか言って。武蔵野市さんはきれいなところがたくさんあるのでちょっとあれであるが。でも楽しみだとおっしゃってくださっていたので、多分皆さん楽しみにいらっしゃるのではないかと思う。自分には出れないものだから、どうぞよろしくお願いします。

(中村議長)

あとほかに皆さんのほうからご質問とかご提案はあるか。もう司会の原稿までつくっていただいているし、打ち合わせも何度もやっているから、当日臨機応変に対応していただければと思う。それだけだと思う。

(本多委員)

私のほうで意見であるが、今までこういうことがあったときに集合写真が何もない。私はカメラを持っていくが、撮れないかもしれない。こういうのというのは必要ないか。

(原嶋副議長)

私はあっちに飛んだりこっちに飛んだりしているから、落ちつかない。

(石原生涯学習課長)

事務局でもカメラを持っているようであるので。当日、生涯学習系の職員は、3人とも私以外にも出てくるので、誰かが。

(本多委員)

集合写真というのは1枚もない、今まで出て。

(中村議長)

それは撮ったほうがいい。

(本多委員)

どうかと思う。

(石原生涯学習課長)

あと、会議録は要らないという話だったが、最後の発表のところぐらいは記録として残し、各市にお送りしようと思っているので、それと一緒に写真も送れば。

(中村議長)

では本多委員に。

(本多委員)

私のカメラでよかったらだが。両方写したほうが安心である。私も危ない。

(原嶋副議長)

スナップ写真か。集合写真。

(中村議長)

集合写真。

(本多委員)

これは私がいつも委員のためだけに撮るだけである。ほかには流したりしない。ただ、その時間があるかどうか。

(原嶋副議長)

そうである、そこを今。終わったらすぐに動かないといけない。

(中村議長)

それは当日の進行状況を見ながら考えたらいいと思う。

(中村議長)

ただ、商工会館へ行く人間というのは大分減る。撮るのだったら研修会のほうがいい。

(本多委員)

そうすると研修会の会場の、始まる後か終わってすぐか。

(中村議長)

終わってすぐで移動前というところではないか。それで集めてまとめて移動したほうがいいと思う。写真を撮ったら全員が集まる。その集まった流れで石原さんを先頭に行っていただく。あとは樋口さんがいらっしゃるし。

(原嶋副議長)

状況判断である。押せ押せという可能性もある。ブロック会の発表といっても、会議自体は40分であり厳しい。まとめたり、発表も発表者が乗ってしまったらどんどん発表する。状況判断である。

(本多委員)

するとしたら施設見学の前。

(中村議長)

その辺は臨機応変に。時間が余ったら撮影というスタンスでいいのではないかと。撮れればベストだが。

(小山田委員)

あと、役割として、質疑応答のときや、グループ発表のときにマイクを回してもらわなければいけないと思うが、会場のほうでマイクを回してくれる方を誰か決めていただいたほうが。

(石原生涯学習課長)

グループとグループの距離が遠かったら、事務局は発表がないので回す。グループとグループが結構近いようだったらその場で隣のグループにマイクを渡してもらえばいいかと思う。

(中村議長)

基本、マイク回しは事務局でお願いします。

(石原生涯学習課長)

はい。

(中村議長)

あとほかよろしいか。疑問点がある場合は、今日解消しておかないといけない。よろしいか。もう意見が出尽くしたようであれば、次の議題に移らせていただくがよろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

(2) 第2次小金井市生涯学習推進計画の評価に係る調査について

(中村議長)

では、協議事項の2、第2次小金井市生涯学習推進計画の評価に係る調査についてということで、事務局お願いします。

(石原生涯学習課長)

調査結果の先ほどの資料説明のときに申し上げたとおり、団体別につづってある。1件、まだ未徴収なのが、ソロプチミスト、石田委員が本日ご欠席で入手できていない状況である。

以上である。

(中村議長)

では、この調査については、全部出そろった段階で考えたいと思うので、今日の場では協議は

せず、次回の小委員会、あるいは本会議で、小委員会になると思うが、討議させていただくという事で、預らせていただく。

それでは、項目2は終了で3のその他を事務局のほうからお願いします。

(石原生涯学習課長)

ここは協議は特にない。

(中村議長)

ありがとう。では、協議事項3はなしということで、報告事項に移る。

項目1、全国大会等参加団体補助金の交付について、事務局のほうからお願いします。

2 報告事項

(1) 全国大会等参加団体補助金の交付について

(石原生涯学習課長)

先ほど小委員会の報告の中でも、副議長のほうから触れていただいたが、アメリカのセントルイスで行われたIBA-boy'sパンパシフィック国際大会、中学生の野球クラブであるが、こちらが東日本大会で優勝して、国際大会に出場し、そちらも優勝、国際大会2連覇したという成績をおさめたということである。アメリカの遠征費用も保護者、特に学校のクラブ活動とは違うので、基本的に個人に負担するところが大きいものであるから、こちらについて、内規の最大限の交付額の20万円を交付するという事で事務手続を進めているところである。

2番目の小金井リトルシニア野球大会であるが、都大会で小金井として初優勝を果たし、全国選抜で北海道のほうに遠征したというものである。こちらも遠征費は多額に上っているが、小金井と冠がついているが、小金井市周辺の中学生の方々もこちらに入れるということで、今年度の選抜のチームについては、小金井市在住の方が2名ということで、構成比が低く、その中で小金井市民だけを支援するというのは、内規上公平を欠くということで、不交付という扱いとさせていただきたいと考えているところである。こちらについては、社会教育委員の方々からご意見があればお聞きするものである。

(中村議長)

ありがとう。小委員会では承認はされているが、こちらでこの件についてご意見、ご質問があればお願いします。いかがか。この内容でよろしいか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

(中村議長)

では、こちらで承認ということで、項目の1番は終了ということで、報告事項の2に移る。

貫井北センターの利用者アンケートについて事務局からお願いします。

(2) 貫井北センターの利用者アンケートについて

(前島公民館長)

公民館長である。

貫井北センターの利用者の皆様に、今後の貫井北センターの運営に役立てるということを目的に、図書館、公民館それぞれに利用者アンケートを実施した。アンケートの実施期間は、平成26年9月17日から10月8日までの3週間、図書館、公民館でご意見をいただいたところである。アンケート用紙は今日お持ちしていないが、それぞれつくり回収したという形である。アンケートについては、図書館、公民館、それぞれ100人程度の方からご意見をいただくことができた。今日は簡単な報告とさせていただきますが、アンケートを提出していただいた8割の方に満足していただいているという状況であった。公民館のほうとしては、満足していただいている方が多かったのは、施設、次に職員の対応、そしてフリースペースということになっている。

簡単だがアンケートの報告とさせていただきます。

(上石図書館長)

図書館のアンケート報告をさせていただきます。

公民館長の説明にあったように、同じ時期に同じようにしている。やはり8割以上の方から満足しているという結果をいただいている。その理由としては、職員の対応がトップでうれしいなと思っている。次に開館時間、閲覧スペースが次であった。あと、開館時間及び日と満足されている方の答えがあった。とてもうれしい内容になっている。

以上である。

(前島公民館長)

ありがとう。

付け加えて、公民館のほうでは、この結果を含め、今後の方向性について、公民館の運営審議会のほうに審問させていただいていることが実はある。詳しくはまた後日ご報告させていただきたいと思っているので、本日はこの程度のご報告とさせていただきたいと思う。

(中村議長)

できれば、今おっしゃったことを書面の形でいただくとありがたい。それは次回でも公民館、図書館ともにいただけるか。

(前島公民館長)

そのようにさせていただきたいと思っている。

(中村議長)

お願いします。我々が一番関心を持っているところはその部分であるので、よろしくをお願いします。

それと、今のお話と関連して、実はこの前の9月の議会で、貫井きたまちセンターについての市の評価について質問した議員さんがいた。その議会の内容について石原課長ご存じか。議員が質問して市が答弁した、市の答弁の内容についてご存じか。

(石原生涯学習課長)

聞いていたが、所管のほうでお答えしたほうがいかと。

(中村議長)

お願いします。

(前島公民館長)

おそらくNPO法人の会員の方の役割であるとか、そういったことのご質問があったかと思う。私のほうで公民館のほうでお答えさせていただいた。市民とのかかわりとしては、市民協働がどういう形を捉えているかという質問だったと思う。今、現在は、NPOの経営のほうに理事の皆様、市民に参加していただいているというところで、一定の協働が図られているのではないかという思いを伝えさせていただいた。

また、企画実行委員というのが公民館には制度があり、市民の方から公募して企画や準備、運営委員会の講座の開設等を市民の方が主になってやる制度がずっと昔から伝統としてあるが、そちらの関係でNPO法人の理事または会員の方が、そういうところに市民としていらっしゃるのに、そういった制度があるのはどういうことかみたいな質問があったが、そこはNPOの経営のほうでは市民の方にご協力いただいていると。NPOの事業運営の中にまた市民の名目の入るような形で、今までの伝統もあるので、そういったことで実施しているというお話をさせていただいた。今までの実績があるので、またNPOの中で終わらないように市民の方々が入っている。そう理解していただきたいとお伝えした。

現在思い出せるのはこの程度だが……。

(中村議長)

ありがとう。

上石館長は答弁はあったか。

(上石図書館長)

私のほうはなかった。

(中村議長)

公民館のほうに対して……。

(上石図書館長)

図書館のことは、事前にお尋ねしたときに、選書方法などに特徴を出せないかというお話を1点いただいたが、貫井北分室も小金井市の一分室なので、図書館の中の選書会議というもので、選書方針に基づいてやっているもので、特徴を出すということを言われるとしたら、ヤングアダルトコーナーとか、そういった貫井北にしかないものがあるので、そちらのほうかなということは事前にはお話をしたが、答弁の時間はこちらにはなかった。

(前島公民館長)

今、話を聞いていて思い出したが、特徴が何か出せないかというお話があった。今の現状では、委託という形でやっているもので、仕様書に基づいてやっていただいている。その中に例えば若者コーナーを活用、構築というのが仕様書の中に入っているもので、そういったところでは委託仕様書の中でも特徴が出せるのではないかというお話をさせていただいた。昨年度は実際にNPOが立ち上がったばかりで、事業計画を公民館のほうから示したようなものを行っていただいている

ので、来年度に向けてその中で事業計画を出していただければ、それを委託仕様書に反映させて1つの特徴となるのではないかと、そういうお答えはさせていただいた。

以上である。

(中村議長)

項目2、今の件で何かご質問、ご意見はないか。今の関係で補足させていただくと、貫井北センターを運営しているNPOの理事として、本多委員と小山田委員、私が実は理事になっている。理事のお二人から何かご意見はないか。

(本多委員)

きたまちセンター、立ち上がるまで実行委員がないということで、NPOが手伝いをかなりした。それを誤解されてしまうと、それは別の話ということ。

(中村議長)

役割が違う。

(本多委員)

今はもう立ち上がったので、多分実行委員が主になっていると私は理解している。

(中村議長)

貫井きたまちセンターが立ち上がる前、つまり今年の3月末までは、結構我々理事が活発な討議を重ね、侃侃諤諤の議論を重ねてきた。図書館部門と公民館部門に大体理事が分かれて、非常に活発な討議をしていた。4月以降は、そこで実際職員の方もいたし、その後で公民館のほうについては、企画実行委員が7月に生まれたので、実際現場のほうに流れは行って、当然役割が違うわけである。NPOの理事と、実際実行部隊、現場で動かれる部隊という考え方をすればいいと思う。役割は違うということである。その辺もご理解いただければと思う。

小山田委員、何かあるか。

(小山田委員)

今、本多さんがおっしゃったようなところで、立ち上がるころと、当初、7月、企画実行委員が決まるまでは理事のほうでも企画を手助けしていくということではあったと思うが、もう決まったので、今は理事は企画について何か手を貸したりということではないと思う。最初のときに役割が混乱するようなことがあったかもしれないと思うが、今はすっきりしていると思う。

(中村議長)

さらに補足させていただくと、今きたまちセンターを運営しているNPOの事業領域だが、設立総会でいろいろ討議されて大変だったが、私が議長をやった。そのときにNPOの事業領域をどうするかという議論になった。それで、定款にどう盛り込むかということで、NPOの事業領域を貫井きたまちセンターだけに限るのか、それとももっと市全体に拡大するのかという、意見が真っ二つに割れた。結果どうなったかというと、貫井きたまちセンターの運営だけにかかわらず、小金井市全体においてそういう事業を展開する可能性もあるということになっている。これはまだ確定ではない。今後の展開次第では貫井きたまちセンターだけでなしに、ほかの例えば分

室がある。東センター、本館、分室、いろいろある。そちらのほうへも場合によってはNPOが委託を受けてやる可能性もあるということは、可能性としてはあるということだけ。定款にそれは含まれる。その定款を決めるに当たってかなり意見が拮抗した。そのときは私の議長裁決で決まったというあれだった。予定外のあれだったが、ちょっとこぼれ話ということでご理解いただきたい。

それから、それに関連して、明日の分科会の討議にご参考になればと思うが、1つは、今、図書館のほうでかなり新たな取り組みをされている。貫井北の分室である。その1つがビブリオバトル。それが11月1日に午後2時から貫井きたまちセンターの会議室で開催される。今度の対象は、今回の研修会のテーマである青少年を対象としている。青少年ということで具体的には、小学校から大学生ぐらいまでを対象にして、本について発表する。発表者が5人、観覧者が40人。募集のところも、実は貫井北分室長の田中館長のお力で発表者5人、確定した。内訳申し上げますと、3人が学芸大の学生さん。2人が中央大学の附属高校の学生ということで、3-2で5人を集めた。観覧者について、今、20人、昨日の段階で同じ数字である。ということでかなり盛り上がりを見せていて、私はちょっとご提案したが、参加者の了解を得てビデオ撮影していただいて、皆さんに見ていただける形にしていきたいということであるので、願います。

皆さんも11月1日、お忙しいと思うが、万障お繰り合わせの上、11月1日の2時から貫井きたまちセンター2階でビブリオバトルをやる。

それと関連して、実は個人的に昨日、ビブリオバトル実践講座中級編公開質問会というのがあり、ビブリオバトルの普及委員会というのがある。それが主催してビブリオバトルを教育現場とか、あるいはいろいろなイベント等に使って、ビブリオバトルを普及していけばいいのではないかということで、例えば図書館での活用事例、教育現場での活用事例、協働体での活用事例、大規模イベントでの活用事例というのが報告があった。例えば図書館でいうと、このビブリオバトルというのはライブラリーオブザイヤー2012で大賞を受賞しているということである。

実際ビブリオバトルというのは、全国114の公立図書館でビブリオバトルの開催実績がある。これは2014年6月末現在である。図書館での活用事例において、企画を立てる際の目的、ポイントについてお話がある。

あと協働体、教育現場の中、特に私が着目しているのは、文部科学省が第三次子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画。これは平成25年度から29年度にビブリオバトルについて文科省が言及している。そういう背景がある中で、授業に取り入れる際の目的、ポイントであったり、授業に取り入れる際の注目点、注意点等々お話しがあった。

今、小学生でビブリオバトルはなかなか導入しづらいところがあると思うが、ビブリオバトルというのは、小学校高学年ぐらいであれば十分発表できるのではないかということで、それを教育現場にどんどん活用していく必要があるのではないかというお話である。例えば小学校の高学年が、その本を5分間で発表するのを低学年の小学校1年生から3年生ぐらいが聞いて投票することはできる。発表はできなくても投票はできるのではないかというお話もあった。

あと、例えば大規模イベントでの活用事例ということでは、これは前猪瀬東京都知事が2010年から2013年でビブリオバトル首都決戦というのを全国規模でやっていたのを、首都で最終、甲子園ではないが首都決戦をやった。これは私も観覧したが非常におもしろかった。

今年は2014年の全国大学ビブリオバトル2014、京都決戦というのがある。もともこのビブリオバトルというのは京都大学の研究室、ゼミから発足したものである。そのお膝元でやるということである。今、高校生大会、社会人大会、大学生大会という、昔は知名度が全然なかったが、このごろかなり脚光を浴びて、このビブリオバトルの開催というのも年ごとにかなり増えているという情報もあった。

ということである。報告事項2はご意見なければこれで終了ということ、報告事項3、その他、あるか。

(3) その他

ア 平成27年度会議日程について

(石原生涯学習課長)

資料として日程をつけさせていただいたが、来年度、生涯学習推進計画の策定作業を行っていくことになっているので、平成27年度の本会議の日程を、あらあらこういうパターンでやっというところをお決めいただくとありがたいなというところである。

それから、小委員会についても生涯学習推進計画の策定作業が出たときには、前回の第2次の計画をつくったときには、小委員会も可能な方は全員で出席して討議をするという形をとっており、予算取りができるかどうかというのは、今、予算編成作業中で確定的なことは申し上げられないが、事務局としては、第2次の計画をつくったときと同様に、なるべく多くの方に小委員会に参加していただき策定作業を進めていきたいと考えているところである。当面、平成27年度の小委員会の四半期分だけでも日程を決められたらと考えてご相談させていただくものである。以上である。

(中村議長)

今、事務局からあったが、できれば今日この場で本会議の日程を、大分先の話になるが、決めさせていただければと思う。本会議も小委員会も両方決めなければ……。

(石原生涯学習課長)

小委員会、4、5、6ぐらい決めていただけると、こちらとしてもありがたいと思っているところである。

(中村議長)

まず、本会議の日程からだが、26年度の本会議の日程に合わせたような形で考えてよろしいかどうかということである。委員の皆さんからご意見はあるか。あと曜日である。26年度は金曜日に設定していたが、27年度、4月以降は金曜日以外がいいとか、そういったご意見が個別にあったら意見を出していただければ。いかがか。先のことであるが。

まず、金曜日で問題がある方はいらっしゃるか。あるいはほかの曜日がいいとか、どうか。

(本多委員)

金曜日は校長会は出にくいのか。

(石原生涯学習課長)

別に何か定例的に行事があるって出られないわけではないみたいで、幾つも公務が重なって、幾つ断るかという中で仕事をされているようで、それがぼこっとキャンセルとかがあったときに出てこれるとか、そういう感じのようである。

(倉持委員)

私も来年度から組織が変わって、授業ががらっと変わる予定であるが、まだ何も。今月末から来月頭で授業組が始まるので、それが決まらないと私の授業がどこになるかというのはわからないというのがある。だから、ここで一度決めていただき、わかり次第ご連絡するぐらいしか今のところは。

(石原生涯学習課長)

こちらは、当然、年度が変わるといろいろ変更も出てくると思っているので、とりあえずパターン化して何曜日とか、毎月第3金曜日とかそういう形で決めていただき、時間も今までずっと9時半からやっているの、同じようなパターンがいいのかなと思っているので、そういったパターン化でよければ、それで年度が変わって実はこうなってしまうということで、そういう方が何名か手が挙がったりすれば、そこは可能な、会場がとれる範囲で微妙に日程をずらしてより多くの方が参加できるようにしたいと思う。

(中村議長)

とりあえず今、おっしゃったように、会場確保、会議室の確保をしなければならないということがあるので、とりあえず今、暫定的にとっておいて、あとで支障が出れば変更していくというパターンでよろしいのではないかと。であるので、特にご異議がなければ、26年度のスケジュールと同様の曜日で、しかも何週目というのがあるかと思うので、それに準じた形でとりあえず決めさせていただいてよろしいか。異議なければこれでと思う。具体的に来年のカレンダーを見ながら落とし込んでいくと、4月24日が金曜日である。

(伊東生涯学習課主事)

4月だが、メモに書いてあるが、スポーツ関係団体に補助金を交付する必要がある、そのためには第3週までに本会議を開催し、会議に諮る必要がある、今回は遅くてバタバタしてしまい、小委員会で先に諮るという形をとらせていただいたが、4月だけは第3週までに会議を開催できればと思う。

(中村議長)

わかった。じゃあ第3週の17日でもいいか。

(原嶋副議長)

第3週ならよろしいか。

(伊東生涯学習課主事)

大丈夫である。

(中村議長)

いいか。じゃあ4月だけ17日金曜日。次の5月は15日が第3週。7月は17日が金曜日。8月は21日が金曜日。10月は16日が金曜日。11月は20日が金曜日。

そのあとの2016年のカレンダーはお持ちか。

(伊東生涯学習課主事)

1月は15日である。

(中村議長)

第3金曜日。

(伊東生涯学習課主事)

はい。

(中村議長)

2月は。

(伊東生涯学習課主事)

19日である。

(中村議長)

これを共通で9時半から2時間程度で一旦とっておく。

もう一度復唱する。4月17日金曜日、5月15日金曜日、7月17日金曜日、8月21日金曜日、10月16日、11月20日、1月15日、2月19日、いずれも金曜日である。これで一旦フィックスして、不都合があれば各委員の方々から事務局にご連絡するような。

(原嶋副議長)

いいか。簡単に言うと無理して視察研修を入れなくてもいい。もう来年度は施策というか、計画をするわけで、物すごくそのこととリンクするんであれば視察する必要は絶対出てくる。だったら皆さんの合意で行くが、あえてどこか行かなくちゃいけない、こうしなくちゃいけない、アポしなくちゃいけないということじゃなくて、やっぱりまずは計画の策定を定めていく必要があると思うので、あるから、やっていたからという固定観念を持つことはないと思う。個人の意見である。やりたいという人があれば何か。

(中村議長)

第3次を固めるスケジュール的なもので、デットラインはいつか。

(石原生涯学習課長)

1回、皆さんの任期が切れた後に最終確定というのがデットライン。1月に中身の確定とかをさせて、印刷して3月31日までに。

(中村議長)

再来年ということであるか。

(石原生涯学習課長)

そうである。そうすると皆さんの任期が切れてしまうという考えはある。

(中村議長)

じゃあなおさらのこと、新しい方が入ってもなかなかおぼつかないと。だから、できるだけ継続してやっている委員の方がいる8月末までには決着をつける方向で考えていきたいと思う。ご協力をよろしく願います。今のスケジュールと関連して、原嶋副議長がおっしゃったのも、もちろんごもっともかなという。

本会議のほうは、一応これで一旦確定ということである。

小委員会の日程はどうであるか。伊東さん、今年はどうだったか。

(伊東生涯学習課主事)

4月は17日に行い、次、6月は10日に行った。

(中村議長)

その次は。

(伊東生涯学習課主事)

10月9日である。

(中村議長)

ただあれである。27年度の小委員会は、第3次の策定があるので4、5、6でやったほうがいい。事務局いかがか。

(石原生涯学習課長)

一応、4月17日とかだと、どこかお手伝いしていただく業者さんとかを選定するときに、まだ選定が終わっていない。大体一番早くやっても5月の連休の前か後ぐらいに契約ができるという状況なので、それでよければ自分たちで先に業者さんとかなくてもやっていくということであれば、4月17日の本会議の前にも小委員会を入れるというのも。ただ、これはあくまでも仮の日程であるので、今年度中にどこまで作業を進められるかというところで、2月13日やって4月の頭にやっても、まだ待っているものが多いということであれば、この回は見送ることも可能だと思う。

(中村議長)

事務局としての腹案というのは何かあるか。

(石原生涯学習課長)

前年踏襲ということであれば、本会議の前に小委員会というのは基本的なスタンスだと思うので、4月17日の1週間前に入れておくというのと、5月については1週間前にとすると連休とかぶってしまうので、これは作業の度合いによって、業者も決まって作業が5月ぐらいから動き出す可能性もあるので、5月末と6月の中旬ぐらいに入れるとかそういう考えではいかがか。例えば5月15日の1週後の5月22日の金曜日に入れて、7月17日に本会議を入れているので、ここ

は間隔が空くので間隔を詰めるために6月の真ん中あたりの金曜日という入れ方はいかがか。あくまでも仮押さえである。

(中村議長)

小委員会については特に金曜日にはこだわっていなかった。

(石原生涯学習課長)

こだわっていない。

(中村議長)

結構木曜日とか火曜日とか。

(石原生涯学習課長)

4月は17日の前の週の木曜日の4月9日はいかがか。9時半で用意する。

(中村議長)

9日だったらいいと思う。いかがか。

(原嶋副議長)

基本的に考えたのは、第1回だけ押さえていただいて、あとは六、七人のメンバーであるから、こういう大きな部屋は要らないので、流動的なわけであるから、どこかの隅っこでもいいわけである。いつも眼目に置いているのは倉持委員がいらっしゃるかいらっしゃらないか。これは大きなウエートなので、私はいてもいなくてもいいが。そういった意味では、発足の日は確定して、あとはどこか、何とかとれる、とれなければ。どこかとれるのではないか。楽観視はしている。

(中村議長)

小さな会議室でもいい。じゃあ初回だけということで、4月9日木曜日9時半から一応、これで決めておいていいか。ご都合が悪い方はいるか。大丈夫か。じゃあ1回目だけ確定で、4月9日木曜日9時半からということで会議室を確保する。2回目、3回目は後日決めるということで、事務局よろしいか。

(石原生涯学習課長)

結構である。

(中村議長)

報告事項その他は以上で大丈夫か。ほかに委員の皆様、あるいは事務局のほうからあるか。お願いします。

イ 第4回放課後子どもプラン運営委員会について

(樹委員)

昨日、第4回放課後子どもプラン運営委員会が開催されたのでご報告をさせていただきます。

現在、放課後子どもプランの実施状況としては、9小学校とも順調に行事が進んでいるという報告があった。1点、今、放課後子どもプラン運営委員会として議論をしていることとして、社会教育委員の皆様にもぜひ知っておいていただきたいということで、昨日田中委員長のほうから

も依頼があったのだけれども、現在、小金井市の学校教育の現場で、放課後子どもプランという、子供の学校が終わった後の居場所をつくるというプランと、もう1つ、学校支援地域本部事業という授業時間の中で地域の力を活用していこうという2本立ての学校支援のプランがある。今、これが放課後子どもプランと地域支援のプランを重複しないような、うまくすみ分けをしていくという中で、現在の放課後子どもプランの運営する放課後子ども教室として、若干学校支援にかかわっていくのではないかという事業の整理をしている。ぜひ、社会教育委員の皆様にも、地域の力がどちらも大変必要な事業となっているので、どういう事業なのかというところにもまず、興味を持っていただきたい、そして理解をしていただきたいというお話が昨日委員長のほうからあり、若干、私たちがこういう事柄に関して、第3次の策定のほうにも心が行っているというか、ウェイトが大きくなっているの、知識が足りないかなと感じるところもあり、昨日反省をして帰ってきた。何か事務局のほうからも資料があったら、ぜひそういうところもいただき、第3次の策定の中で地域力の向上と地域の力を学校教育に生かしていくということも大切なことだと思うので、考えていければと思っている。次回は12月、第一小学校の現場を視察することになっている。

報告は以上である。

(中村議長)

ありがとう。今の樹委員のお話、非常に重要だなと思う。これは私、常々思うが、やはり地域の教育力アップにおける社会教育委員の役割というのは大きいと思う。

以上